

令和 4 年 11 月の解説（府県天気予報）

【11 月の天候状況】

上旬は、北日本、東日本、西日本では、旬のはじめは低気圧や前線の影響で曇りや雨となった所がありましたが、西日本を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、西日本日本海側では降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多くなりました。沖縄・奄美では、前線や高気圧の縁辺を回る湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多く、旬のはじめと終わりは大雨となった所があったため、降水量はかなり多く、日照時間はかなり少なくなりました。気温は、旬のはじめと終わりは暖かい空気に覆われて平年を上回りましたが、旬の中頃は寒気が流れ込み平年を下回りました。

中旬は、北日本、東日本、西日本では、天気は短い周期で変わりましたが、本州付近は高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日照時間は北・西日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、降水量は東・西日本日本海側で少なくなりました。沖縄・奄美では、旬のはじめと中頃に前線や高気圧の縁辺を回る湿った空気の影響で大雨となった所があったため、降水量はかなり多くなりました。寒気の影響が弱かったため、平均気温は全国的に高く、沖縄・奄美ではかなり高くなりました。

下旬は、北日本から西日本にかけての太平洋側と沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響をたびたび受けたため、天気は短い周期で変わりました。東・西日本太平洋側と沖縄・奄美では、旬のはじめと終わりを中心にまとまった雨となったため、降水量はかなり多くなりました。一方、寒気の影響が弱く、曇りや雨の日が少なかった北・東・西日本日本海側の日照時間は多くなりました。寒気の影響が弱く、低気圧の前面で南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、平均気温は全国的にかなり高く、平均気温平年差は、北日本で+3.4℃、東日本で+3.7℃、西日本で+3.5℃、沖縄・奄美で+2.1℃となり、統計開始以降、11月下旬として北日本では1位タイ、東日本、西日本と沖縄・奄美では1位の高温となりました。

【11 月の検証結果】

17 時発表の天気予報による「降水の有無」の全国平均の適中率は、明日予報は例年値（注）より 4 ポイント高い 89%で、明後日予報は例年値より 5 ポイント高い 87%でした。地方別の適中率では、明日予報は、北海道以外の各地方で例年値を上回りました。また、明後日予報は、北海道と沖縄以外の各地方で例年値を上回りました。

同じく 17 時発表の天気予報による明日の最高気温の予報誤差は、全国平均で例年値より 0.4℃小さい 1.1℃で、全ての地方で例年値よりも小さくなりました。また、最低気温の予報誤差は、全国平均で例年値より 0.3℃小さい 1.2℃で、北陸地方以外の各地方で例年値よりも小さくなりました。

（注）例年値は気象庁HP（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【1 月の天気予報の利用にあたって】

1 月は、日本海側の地方では、冬型の気圧配置となって風が強まり、雪や雨の日が多くなります。日頃から大雪や暴風雪に備えて下さい。また、太平洋側の地方では晴れる日が多くなり、空気が乾燥して火災が起きやすくなる一方で、日本の南海上を低気圧が通過する場合

などには雪が降り、少しの積雪でも交通機関の運行などに大きく影響することがあります。天気予報とともに、大雪や暴風雪についての最新の警報や注意報、早期注意情報、気象情報、また乾燥注意報の発表状況に留意して下さい。